

# 岡山県感染症週報 2015年 第10週 (3月2日～3月8日)

岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

## ◆2015年 第10週 (3/2～3/8) の感染症発生動向 (届出数)

### ■全数把握感染症の発生状況

第9週 2類感染症 結核 1名 (70代 男)

第10週 2類感染症 結核 5名 (40代 男 3名、90代 女 2名)

### ■定点把握感染症発生状況

○インフルエンザは、県全体で323名 (定点あたり4.55 → 3.85人) の報告があり、前週より減少しました。

○感染性胃腸炎は、県全体で433名 (定点あたり7.04 → 8.02人) の報告があり、前週より増加しました。

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で95名 (定点あたり2.11 → 1.76人) の報告があり、前週より減少しました。

### 【第11週 速報】

○インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が9施設でありました。(3月9日～11日)

1. **インフルエンザ**は、県全体で323名 (定点あたり4.55 → 3.85人) の報告があり、前週より減少しました。岡山県は、3月5日に「インフルエンザ警報」を「インフルエンザ注意報」に切り替え、ひきつづき注意喚起を図ります。地域別では、備北地域 (8.00人)、倉敷市 (6.00人)、真庭地域 (5.67人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は、11施設でありました。インフルエンザによる入院患者の報告は、ありませんでした。県内の発生状況など詳しくは、「**インフルエンザ週報**」及び岡山県感染症情報センターホームページ『[2014/2015年シーズン インフルエンザ情報](#)』をご覧ください。
2. **感染性胃腸炎**は、県全体で433名 (定点あたり7.04 → 8.02人) の報告があり、前週より増加しました。依然として多くの患者が報告されています。地域別では、備北地域 (13.25人)、備前地域 (9.30人)、岡山市 (9.14人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。ひきつづき手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。県内の発生状況など、詳しくは「**感染性胃腸炎週報**」および岡山県感染症情報センターホームページ『[2014/2015年 感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。
3. **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**は、県全体で95名 (定点あたり2.11 → 1.76人) の報告があり、前週より減少しましたが、過去10年間の同時期と比較して最も多くなっています。地域別では、倉敷市 (2.55人)、岡山市 (2.21人)、美作地域 (2.17人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。全国の2015年第9週までの発生状況は、定点あたり報告数が第2週 (1/5～1/11) から増加傾向にあり、過去10年間の同時期と比較してもっとも多い状態です。近隣県でも多くの患者が報告されていますので、ひきつづき今後の県内の発生状況に注意してください。

## ◆ 小学校入学前に、麻しん・風しんの予防接種を！

\* 麻しん・風しんの定期予防接種 (第2期) の接種期間は、  
小学校入学前の1年間 (4月1日～3月31日) となっています。

4月から小学校に入学されるお子さんで、まだ接種を済ませていない方は、積極的な接種をご検討ください。

接種対象者：平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれの方

## ◆ 春休みに海外へ旅行される方へ

○春休みに海外へ旅行される方に向けた感染症情報が、厚生労働省検疫所のホームページに掲載されました。

海外には、通常日本国内に存在しない感染症が多くあります。海外で感染症にかからないようにするには、出発前にあらかじめ渡航先の感染症に関する情報を入手しておくことが大切です。

[海外で健康に過ごすために（厚生労働省検疫所）](#)

### <旅行中の注意点>

- ・生水・氷・カットフルーツを食べることは避けましょう。
- ・蚊・ダニに刺されないように、注意しましょう。  
(肌の露出を少なくする、虫よけ剤を使用するなど)
- ・動物には、むやみに触らないようにしましょう。  
(狂犬病、MERSなどのウイルスをもっていることがあります)
- ・手洗い・うがいを励行しましょう

### <帰国した後に>

- ・帰国時に体調不良があれば、空港の検疫所に相談しましょう。
- ・帰国時に症状がなくても、その後体調が悪くなったときは、早めに医療機関を受診し、その際は必ず渡航先も伝えましょう。

## 流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓	★★	RSウイルス感染症	↓	★
咽頭結膜熱	↓	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↙	★★★★★
感染性胃腸炎	↗	★★	水痘	↗	★
手足口病	↗	★	伝染性紅斑	↙	★
突発性発疹	↙	★	百日咳	→	★
ヘルパンギーナ	↓	★	流行性耳下腺炎	↑	★
急性出血性結膜炎	→		流行性角結膜炎	↗	★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	→	
マイコプラズマ肺炎	→		クラミジア肺炎	→	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↓	* 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、2013年第42週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。			

【記号の説明】 前週からの推移： ↓ : 2倍以上の減少    ↙ : 1.1~2倍未満の減少    → : 1.1未満の増減  
 ↗ : 1.1~2倍未満の増加    ↑ : 2倍以上の増加

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。  
 空白:発生なし    ★: 僅か    ★★: 少し    ★★★: やや多い    ★★★★: 多い    ★★★★★: 非常に多い

## インフルエンザ週報 2015年 第10週 (3月2日～3月8日)

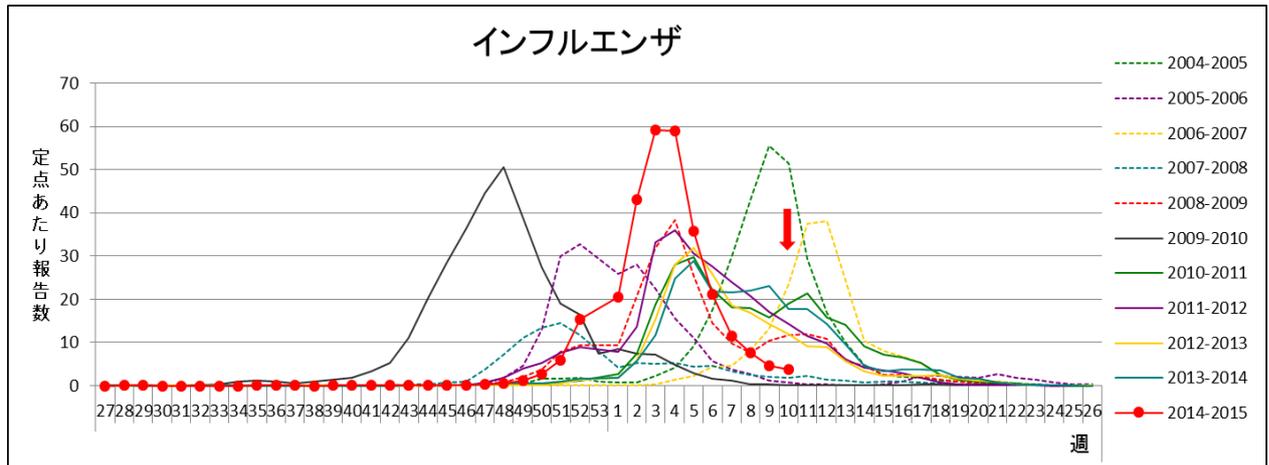
岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

## ➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で323名(定点あたり4.55 → 3.85人)の報告があり、前週より減少しました。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が11施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。

## 【第11週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が9施設でありました(3月9日～11日)。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で323名(定点あたり4.55 → 3.85人)の報告があり、第3～4週をピークに6週連続で減少しました(84定点医療機関報告)。岡山県は、3月5日に「インフルエンザ警報」を「インフルエンザ注意報」に切り替え、ひきつづき注意喚起を図っています。

地域別では、備北地域(8.00人)、倉敷市(6.00人)、真庭地域(5.67人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。流行のピークは過ぎたものの、依然として学校等の臨時休業も報告されており、しばらくは流行がつづくと思われます。

『外出後や食事の手洗いを徹底する』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する』『十分な睡眠を取る』など、感染予防に努めてください。また症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

### ◆インフルエンザは依然として流行期にあります。 ひきつづき感染予防に努めましょう。

## 【予 防】

- \* 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- \* 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- \* 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- \* 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

## 【かかったかな?という時には】

- \* 早めに医療機関を受診しましょう。
- \* 周りの人にうつさないように、「咳エチケット」を心がけましょう。
- \* 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。

# 1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	323	↘	備 中	患者数	60	↘
	定点あたり	3.85			定点あたり	5.00	
岡山市	患者数	46	↗	備 北	患者数	48	↗
	定点あたり	2.09			定点あたり	8.00	
倉敷市	患者数	96	↘	真 庭	患者数	17	↘
	定点あたり	6.00			定点あたり	5.67	
備 前	患者数	37	↘	美 作	患者数	19	↘
	定点あたり	2.47			定点あたり	1.90	

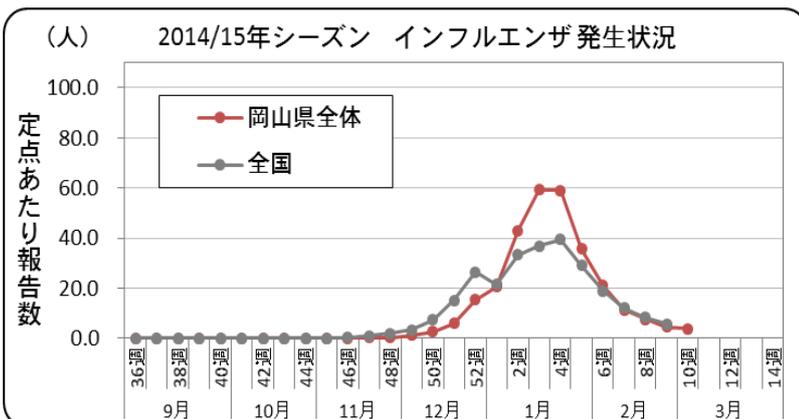
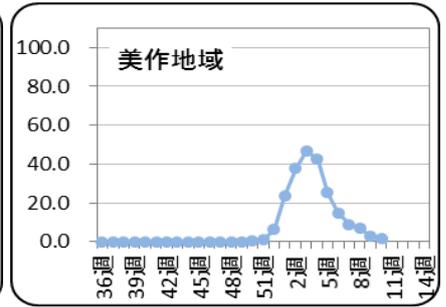
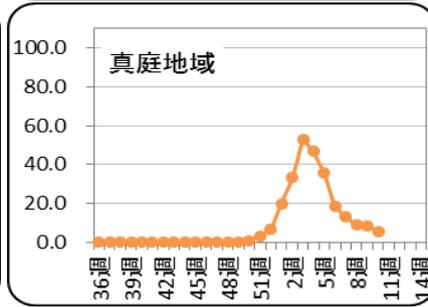
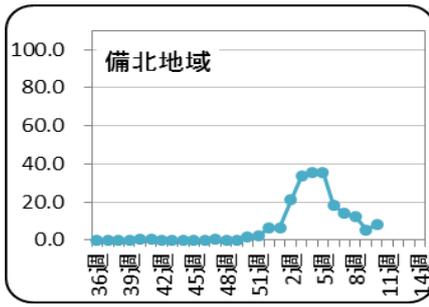
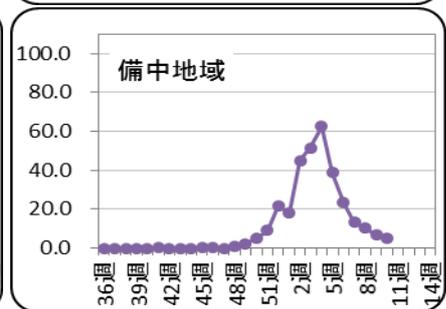
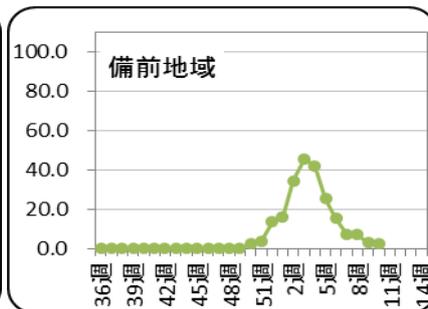
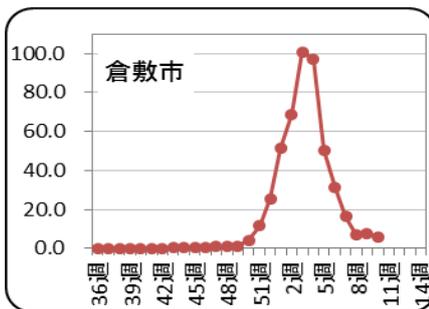
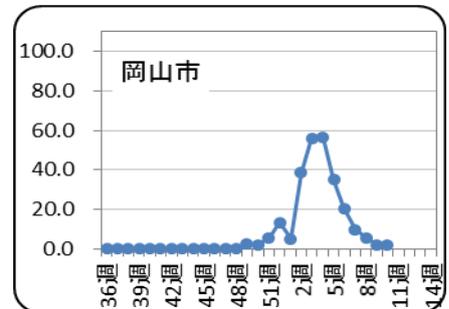
【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1~2倍未満の減少 ↘ 1.1未満の増減 →  
1.1~2倍未満の増加 ↗ 2倍以上の増加 ↑

## インフルエンザ感染症マップ



### <インフルエンザ発生レベル 基準>

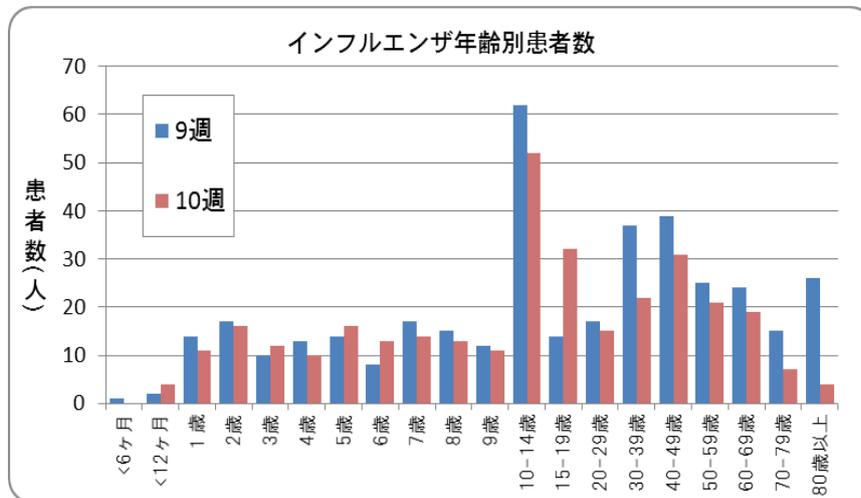
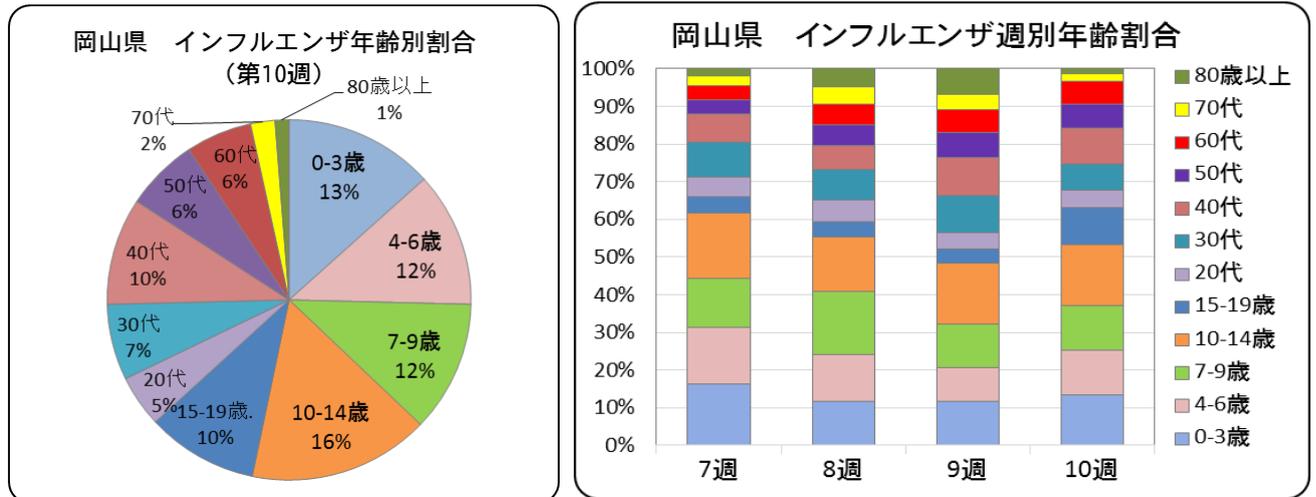
レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10以上 30未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0 < 10未満		0



全国集計第9週（2/23～3/1）速報値によると、全国の定点あたり報告数は5.88人であり、前週（8.26人）よりも減少しました。全ての都道府県で、前週の報告数よりも減少しています。

## 2. 年齢別発生状況

第10週の年齢別割合は、10-14歳16%、0-3歳13%、4-6歳及び7-9歳12%の順で報告数が多くなっています。



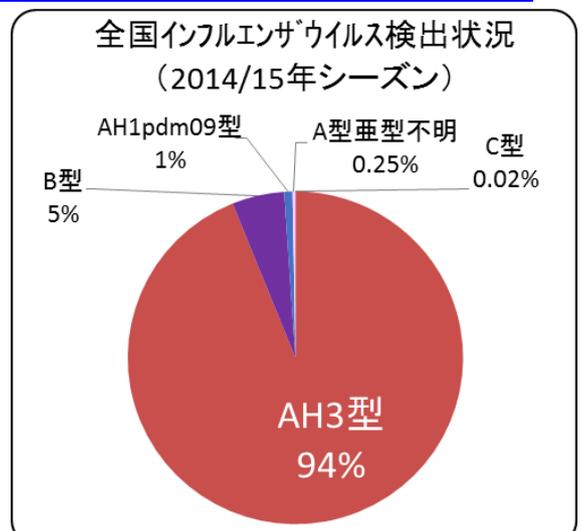
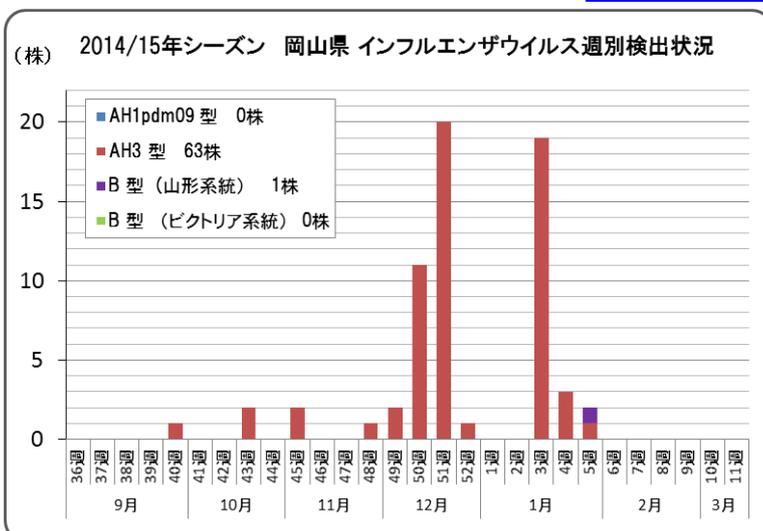
## 3. インフルエンザウイルス検出状況

第10週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスはありませんでした。今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が63株(98%)、B型が1株(2%)となっています。

[岡山県 インフルエンザウイルス分離・検出状況](#)

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、岡山県と同様、AH3型の検出割合が最も多く94%、次いでB型が5%、AH1pdm09型が1%の順となっています。(2015年3月12日現在)

[インフルエンザウイルス分離・検出速報 \(国立感染症研究所\)](#)

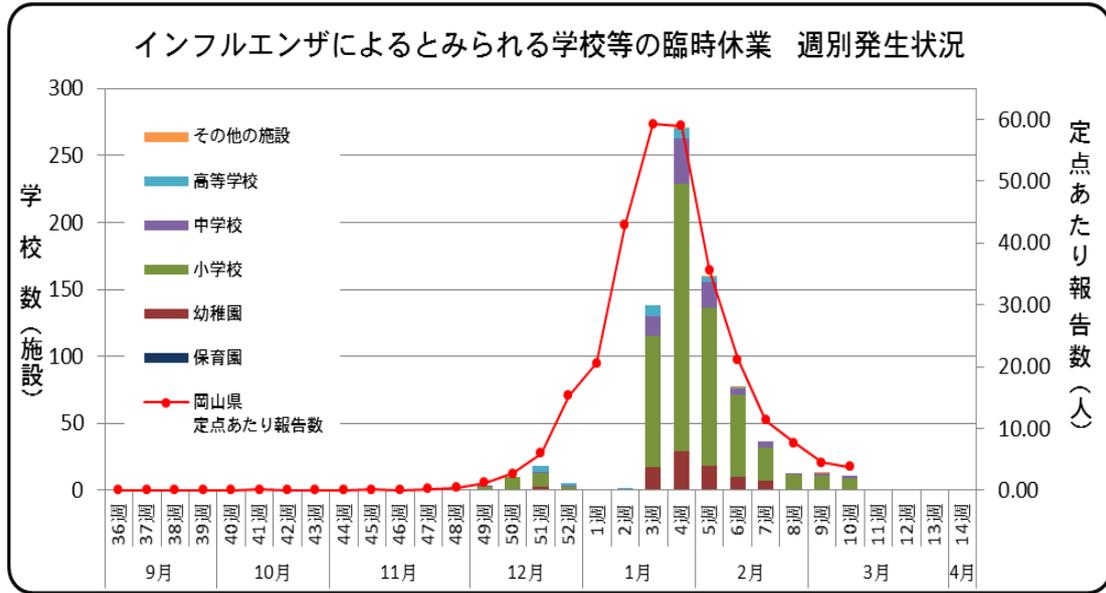


#### 4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 11 施設でありました。

【第 10 週 臨時休業施設数】

▽倉敷市 4 ▽井原市 2 ▽高梁市 2 ▽岡山市 1 ▽総社市 1 ▽久米南町 1



#### 1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
<b>岡山県全体</b>	<b>117</b>	<b>12039</b>	<b>89</b>	<b>9390</b>	<b>11</b>	<b>762</b>	<b>0</b>	<b>16</b>	<b>3</b>	<b>188</b>	<b>8</b>	<b>558</b>	<b>H26.10.21</b>
岡山市	14	4968	13	3733	1	293	0	2	0	40	1	251	<b>H26.12.1</b>
倉敷市	58	2884	37	2348	4	160	0	3	0	24	4	133	<b>H26.10.21</b>
備前地域	0	723	0	609	0	59	—	—	0	22	0	37	<b>H26.12.9</b>
備中地域	19	1558	19	1239	3	124	0	5	2	51	1	68	<b>H26.12.8</b>
備北地域	22	331	16	180	2	12	0	1	1	6	1	5	<b>H27.1.16</b>
真庭地域	0	205	0	172	0	19	0	1	0	10	0	8	<b>H26.12.16</b>
美作地域	4	1370	4	1109	1	95	0	4	0	35	1	56	<b>H27.1.13</b>

\* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

#### 2) 臨時休業施設数の内訳

第 10 週 : 11 施設

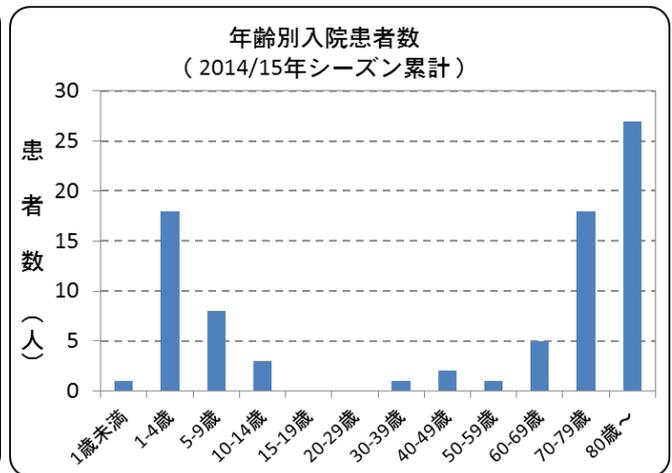
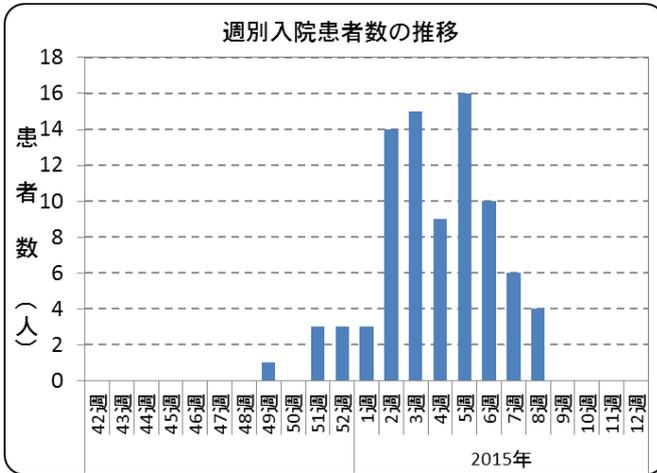
累計 : 762 施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	1	86	8	560	2	87	0	25	0	4

### 5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者の報告は、ありませんでした。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



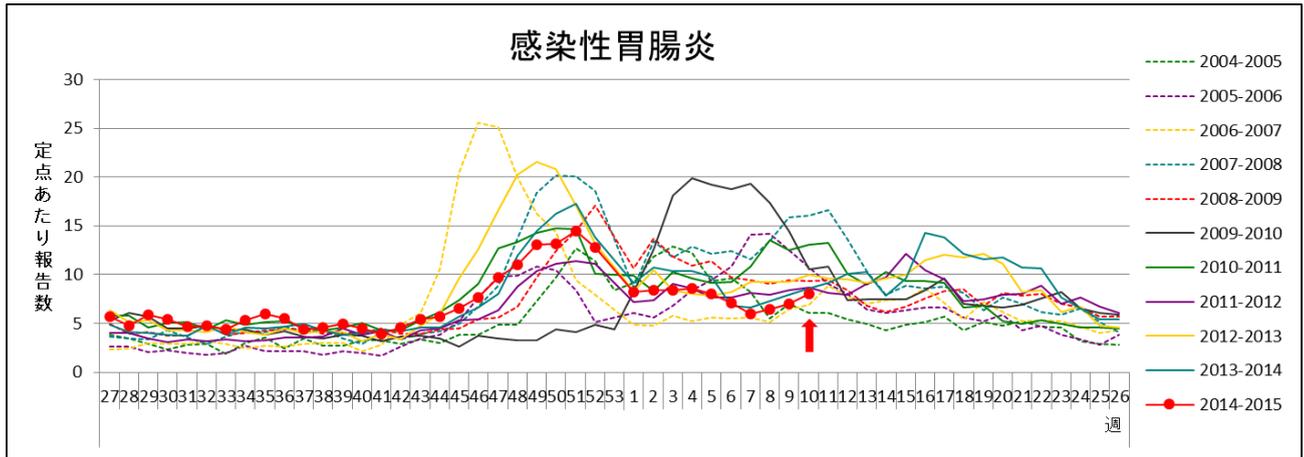
#### 【2014年9月1日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
<b>入院患者数</b>	1	18	8	3			1	2	1	5	18	27	84
ICU入室											3		3
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査 (予定含)		5								2	4	3	14
頭部 MRI 検査 (予定含)		1		1							3		5
脳波検査 (予定含)		1									1		2
いずれにも該当せず	1	13	8	2			1	2	1	3	12	24	67

\* 重複あり

# 感染性胃腸炎週報 2015年 第10週 (3月2日～3月8日)

○感染性胃腸炎は、県全体で433名(定点あたり7.04 → 8.02人)の報告がありました(54定点医療機関報告)。

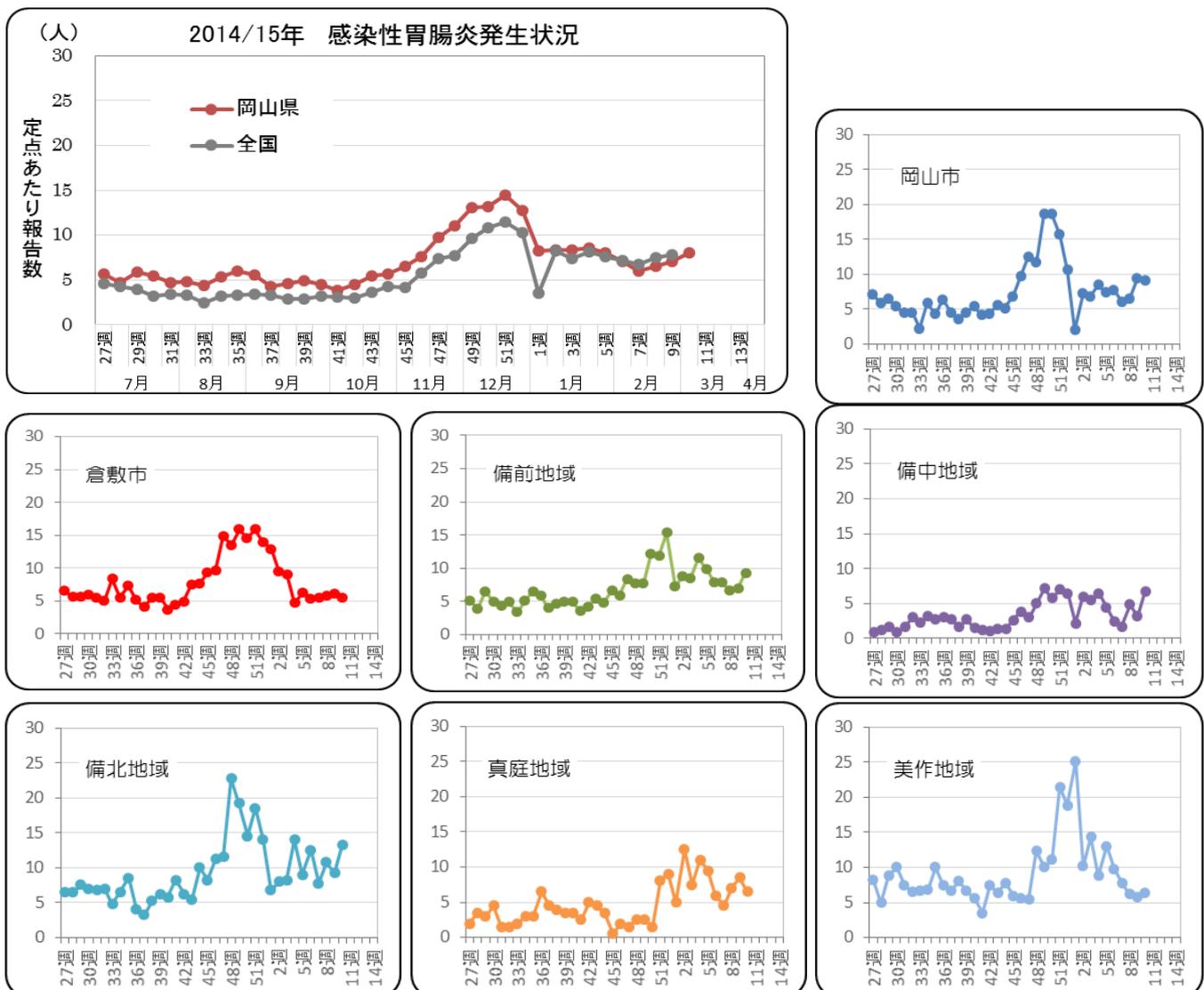


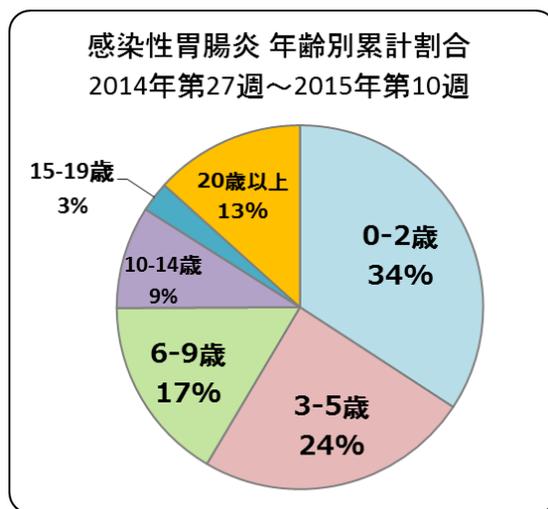
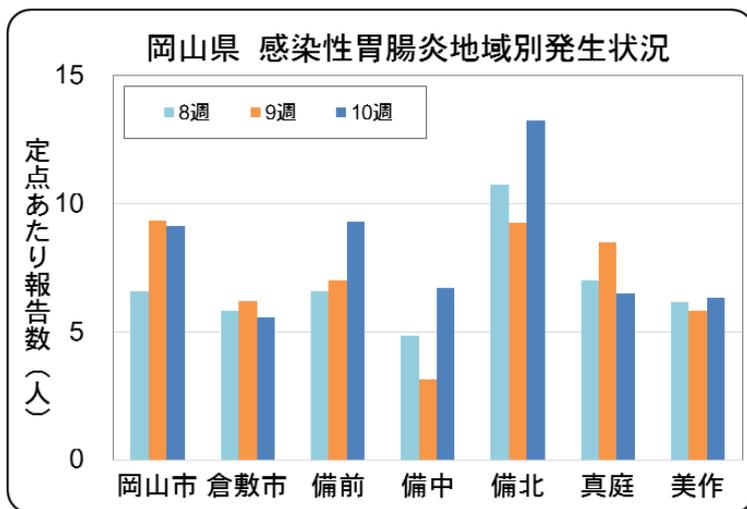
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週でグラフを作成しています。

**感染性胃腸炎**は、県全体で433名(定点あたり7.04 → 8.02人)の報告があり、第8週以降わずかに増加が続いています。冬の感染性胃腸炎の原因は、ノロウイルスやロタウイルス等のウイルスによるものが多く、幅広い年齢層での発生がみられます。排便後や調理・食事の前には石けんと流水で十分に手を洗う、下痢便・嘔吐物は適切に処理をするなど、感染予防と拡大防止に努めてください。

[ノロウイルスに関するQ&A \(厚生労働省\)](#)  
[ロタウイルスに関するQ&A \(厚生労働省\)](#)

## ◆地域別・年齢別発生状況





地域別では、備北地域（13.25人）、備前地域（9.30人）、岡山市（9.14人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、備前地域、備中地域、備北地域、美作地域では増加がみられました。年齢別累計では、5歳以下の乳幼児が全体の58%を占めています。

例年3～5月には、0～2歳の乳幼児を中心にロタウイルスによる胃腸炎が増加するとされています。主な症状は嘔吐と下痢で、ノロウイルスによる胃腸炎に比べ重症度が高いといわれています。嘔吐や下痢により脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

[IASR Vol.35 p.63-64: 2014年3月号 ロタウイルス 2010～2013年（国立感染症研究所）](#)

### ◎感染性胃腸炎が多く発生しています。

- \* 石けんと流水でしっかりと手を洗うなど、感染予防と拡大防止に努めましょう。
- \* 患者の嘔吐物や下痢便を処理する際には、自分が感染しないように、使い捨ての上着やマスク、手袋を着用しましょう。
- \* 塩素系漂白剤などを使った消毒も、併せて行いましょう。
- \* 通常重症化することはありませんが、小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢による脱水症状を起こすこともあります。体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

[食中毒（ノロウイルス）注意報を発令中です（岡山県 生活衛生課）](#)

保健所別報告患者数 2015年 10週 (2015/03/02～2015/03/08)

2015年3月11日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当										
インフルエンザ	323	3.85	46	2.09	96	6.00	37	2.47	60	5.00	48	8.00	17	5.67	19	1.90
RSウイルス感染症	3	0.06	1	0.07	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	5	0.09	-	-	1	0.09	-	-	-	-	3	0.75	-	-	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	95	1.76	31	2.21	28	2.55	3	0.30	13	1.86	5	1.25	2	1.00	13	2.17
感染性胃腸炎	433	8.02	128	9.14	61	5.55	93	9.30	47	6.71	53	13.25	13	6.50	38	6.33
水痘	26	0.48	11	0.79	3	0.27	1	0.10	-	-	4	1.00	2	1.00	5	0.83
手足口病	37	0.69	6	0.43	22	2.00	-	-	9	1.29	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	3	0.06	1	0.07	1	0.09	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-
突発性発疹	15	0.28	6	0.43	2	0.18	2	0.20	2	0.29	1	0.25	-	-	2	0.33
百日咳	1	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	0.02	-	-	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	18	0.33	2	0.14	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	14	2.33
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	0.25	3	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.20	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2015年 10週 (2015/03/02～2015/03/08)

2015年3月11日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当										
インフルエンザ	323	3.85	46	2.09	96	6.00	37	2.47	60	5.00	48	8.00	17	5.67	19	1.90
咽頭結膜熱	5	0.09	-	-	1	0.09	-	-	-	-	3	0.75	-	-	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	95	1.76	31	2.21	28	2.55	3	0.30	13	1.86	5	1.25	2	1.00	13	2.17
感染性胃腸炎	433	8.02	128	9.14	61	5.55	93	9.30	47	6.71	53	13.25	13	6.50	38	6.33
水痘	26	0.48	11	0.79	3	0.27	1	0.10	-	-	4	1.00	2	1.00	5	0.83
手足口病	37	0.69	6	0.43	22	2.00	-	-	9	1.29	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	3	0.06	1	0.07	1	0.09	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-
百日咳	1	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	0.02	-	-	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	18	0.33	2	0.14	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	14	2.33
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	0.25	3	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2015年 第10週 2015/03/02~2015/03/08 )

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	323	-	4	11	16	12	10	16	13	14	13	11	52	32	15	22	31	21	19	7	4

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	3	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	5	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	95	-	-	1	6	9	10	19	15	9	5	7	9	1	4
感染性胃腸炎	433	5	21	54	24	30	36	29	22	16	23	31	49	17	76
水痘	26	-	1	-	7	4	5	3	3	1	1	-	1	-	-
手足口病	37	-	2	10	8	9	2	4	2	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
突発性発疹	15	-	5	7	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ヘルパンギーナ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	18	-	-	3	1	6	-	4	1	2	-	1	-	-	-

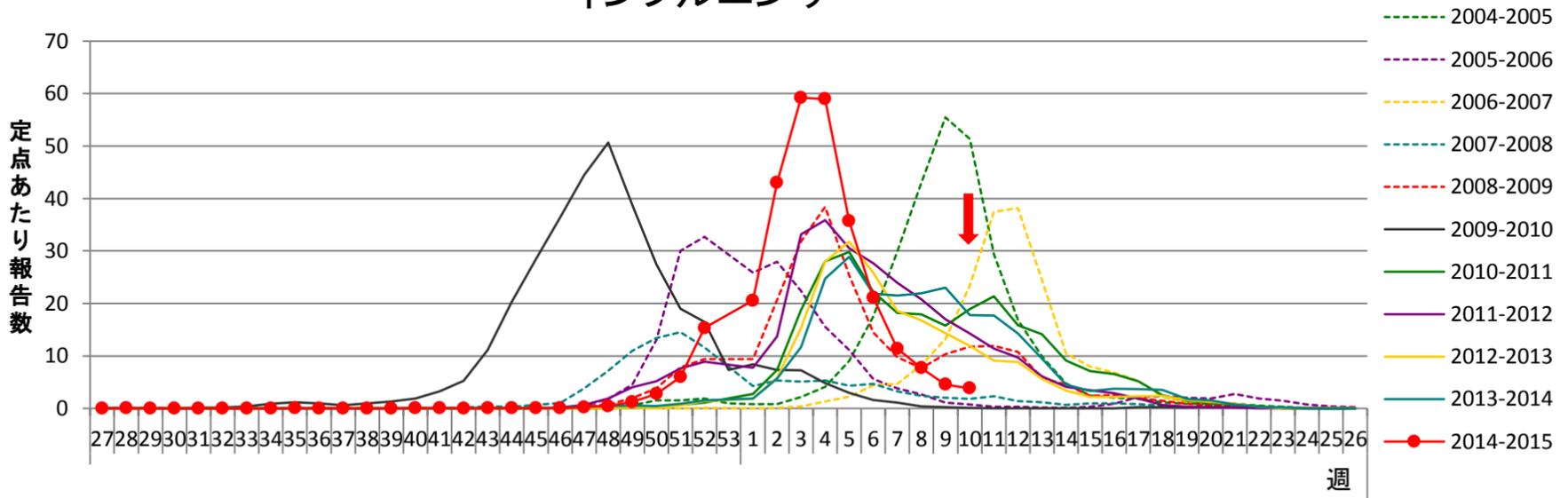
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

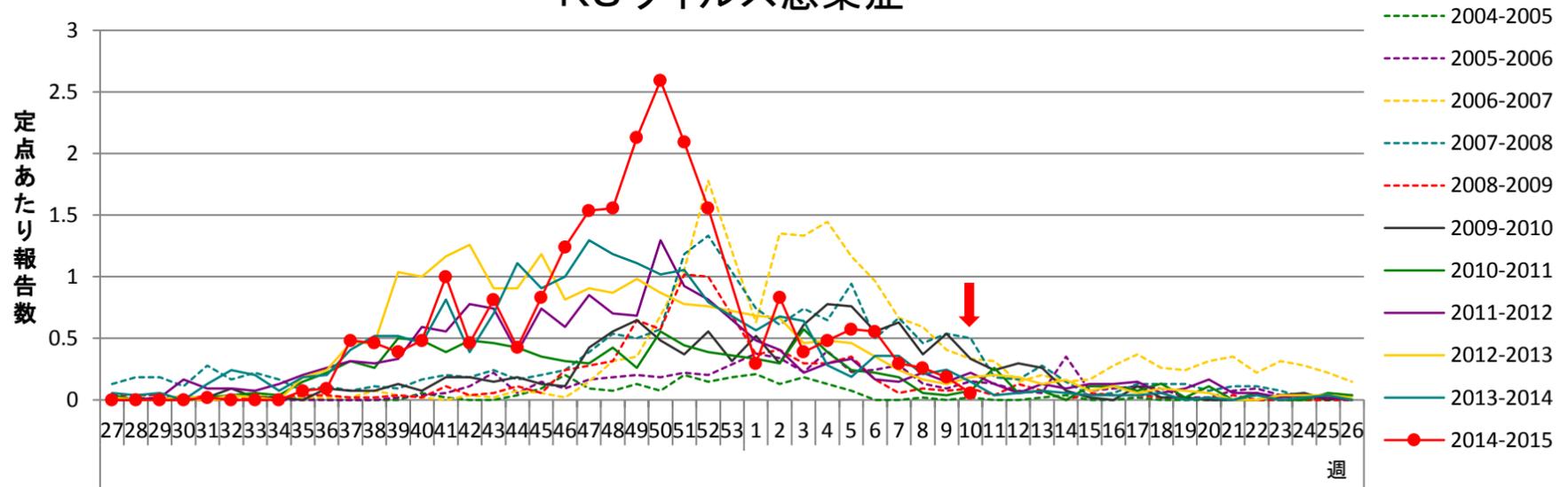
( - : 0 )



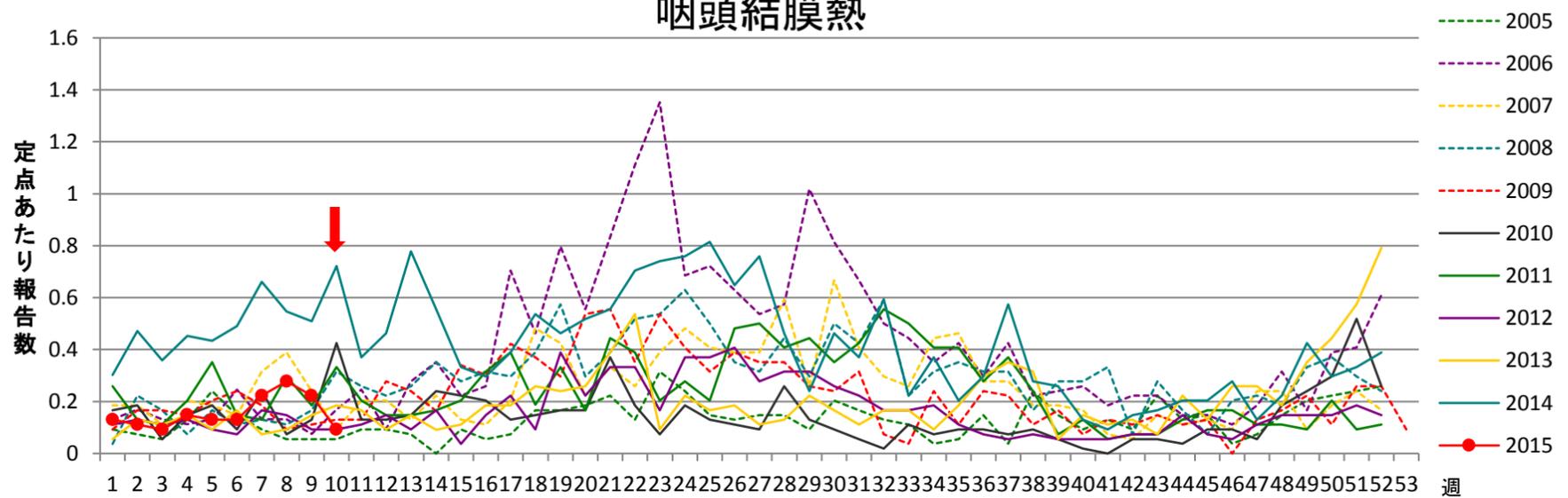
### インフルエンザ



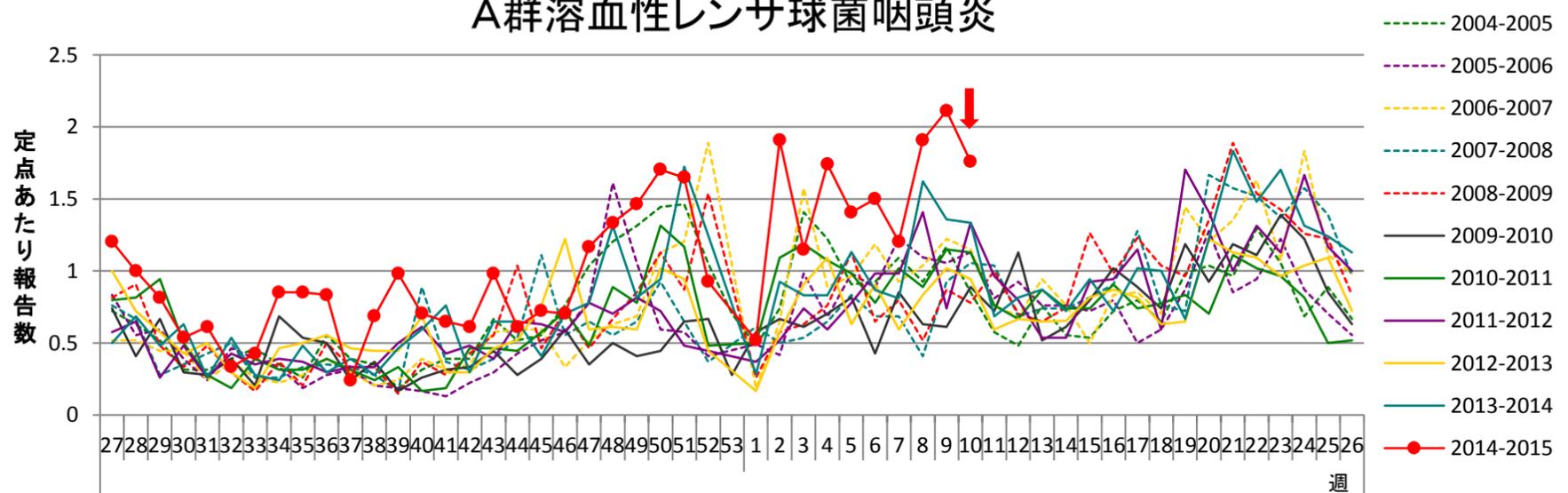
### RSウイルス感染症



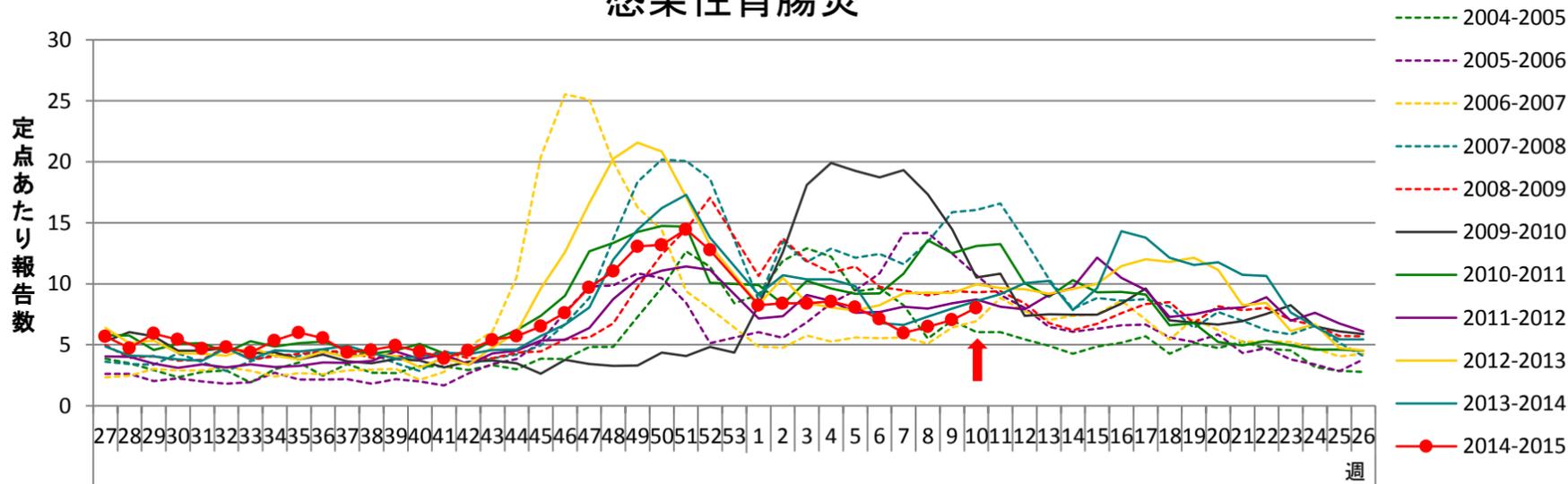
### 咽頭結膜熱



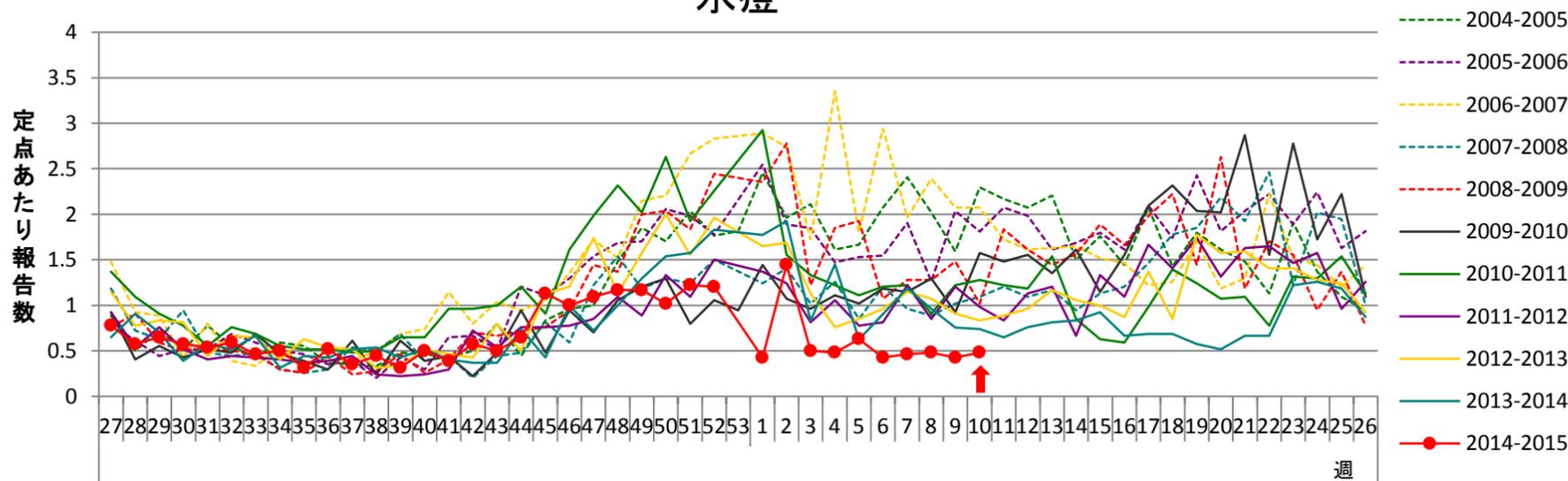
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



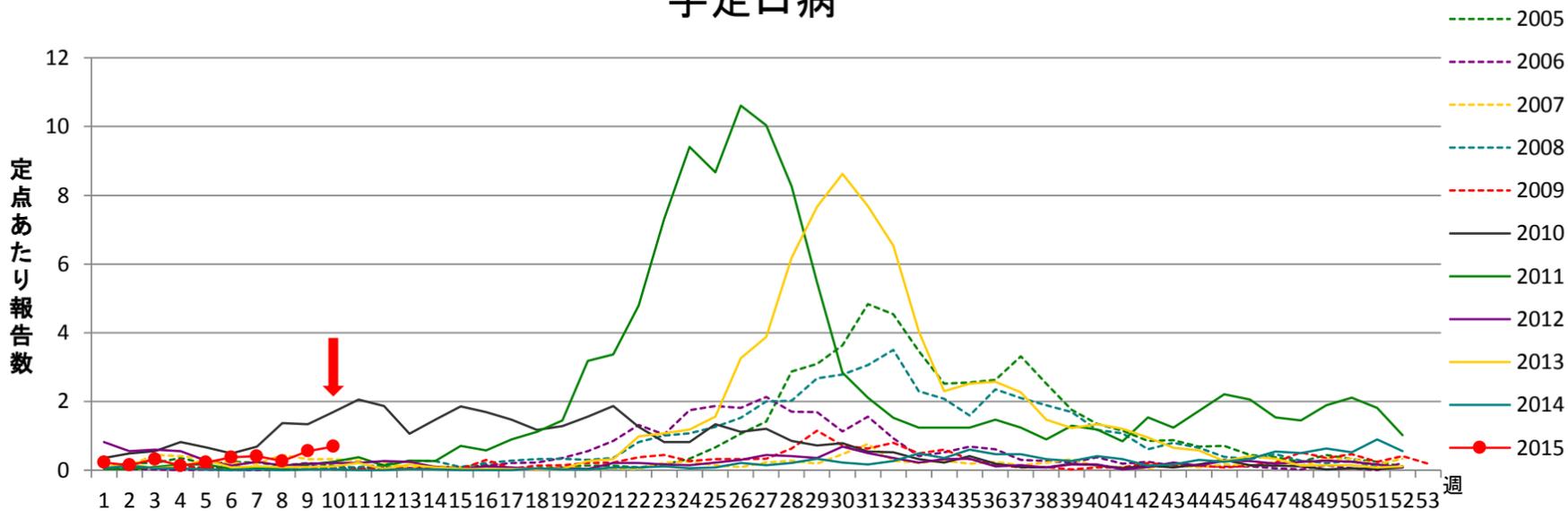
### 感染性胃腸炎



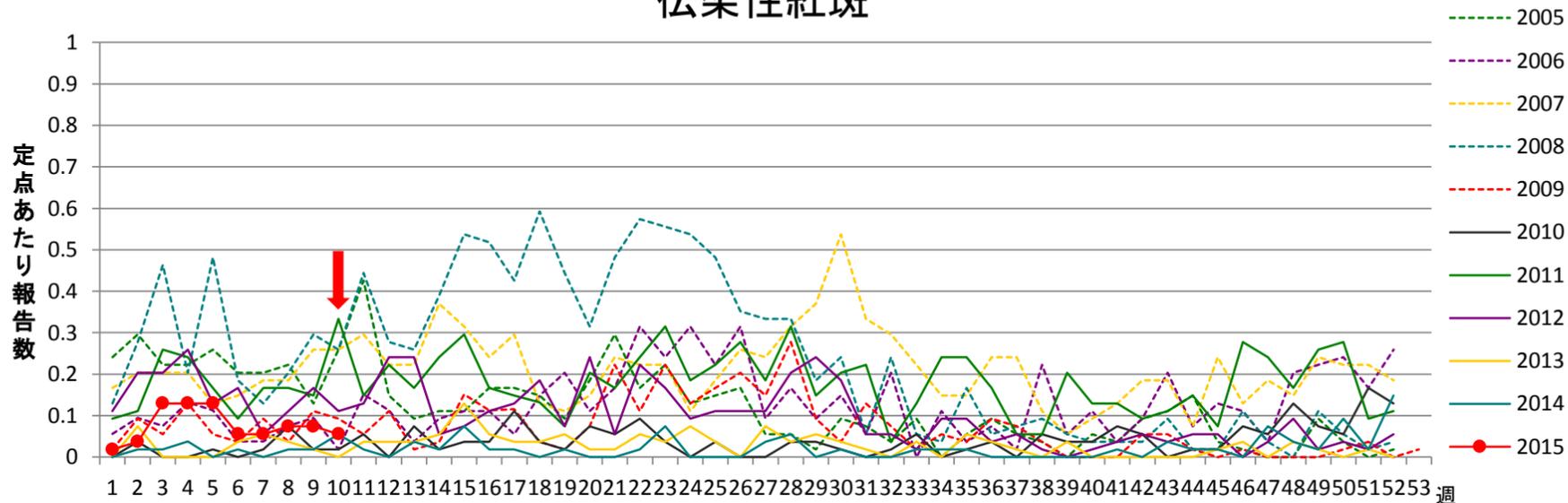
### 水痘



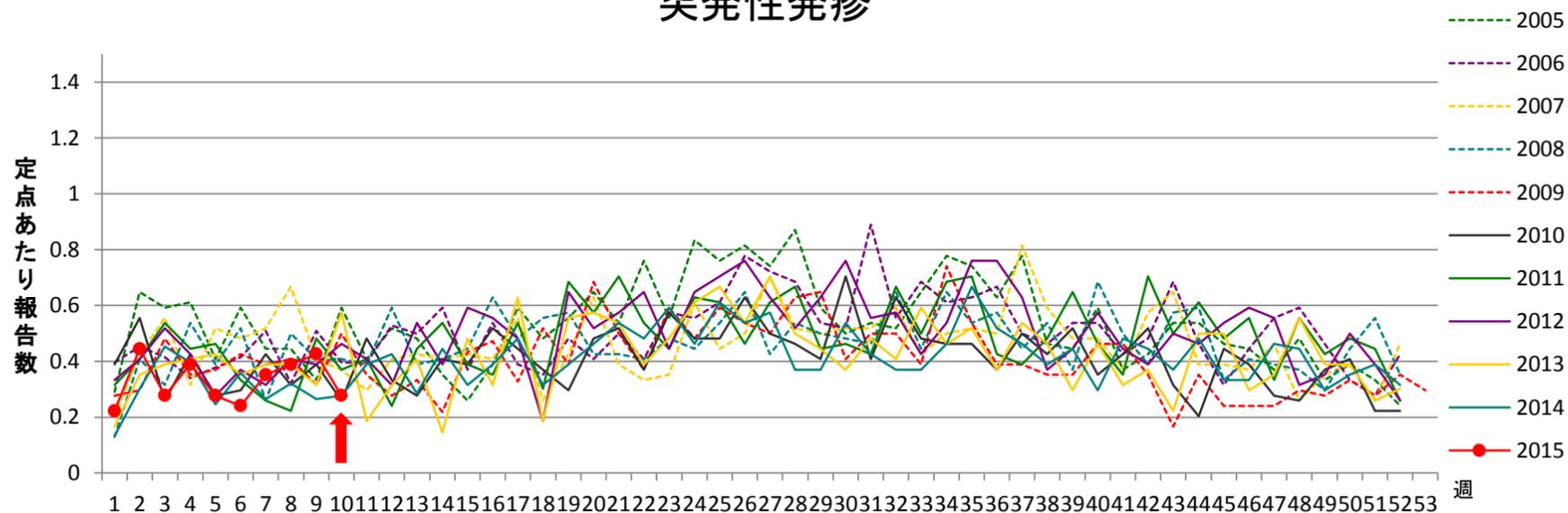
### 手足口病



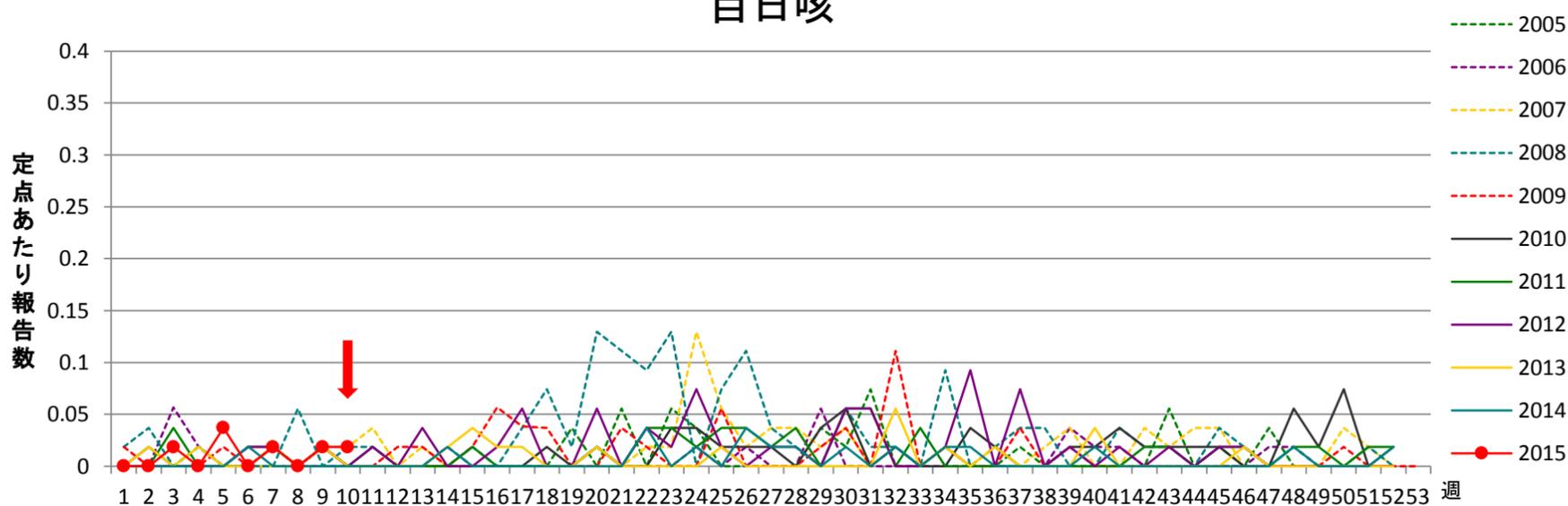
### 伝染性紅斑



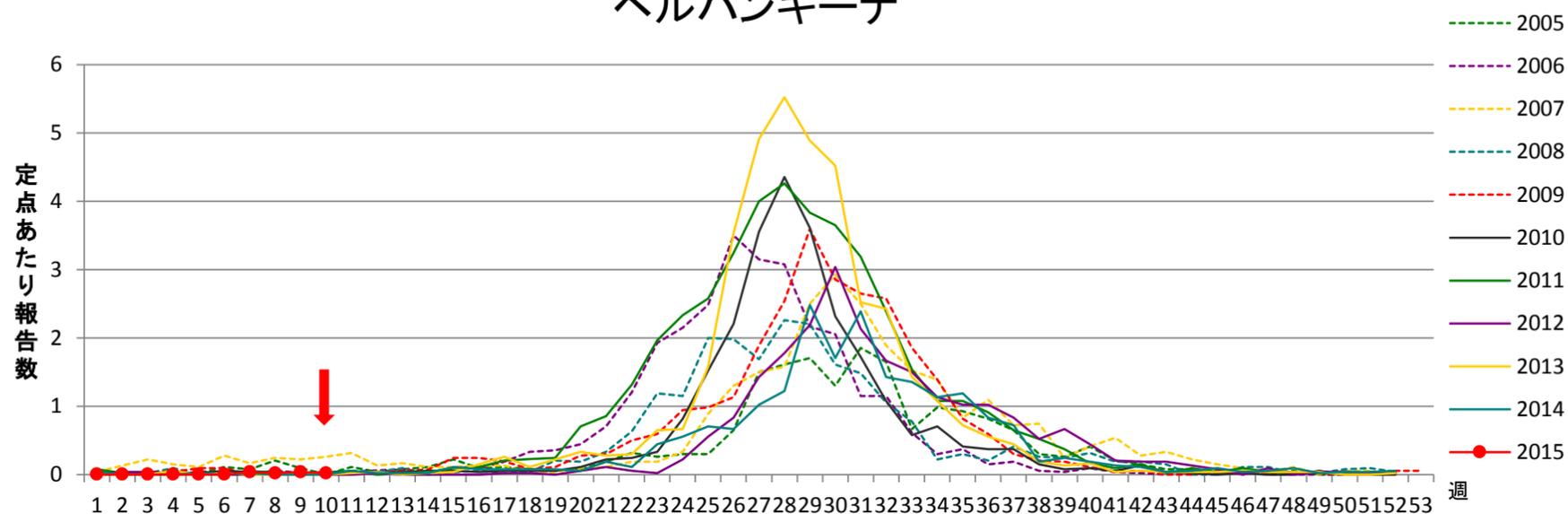
### 突発性発疹



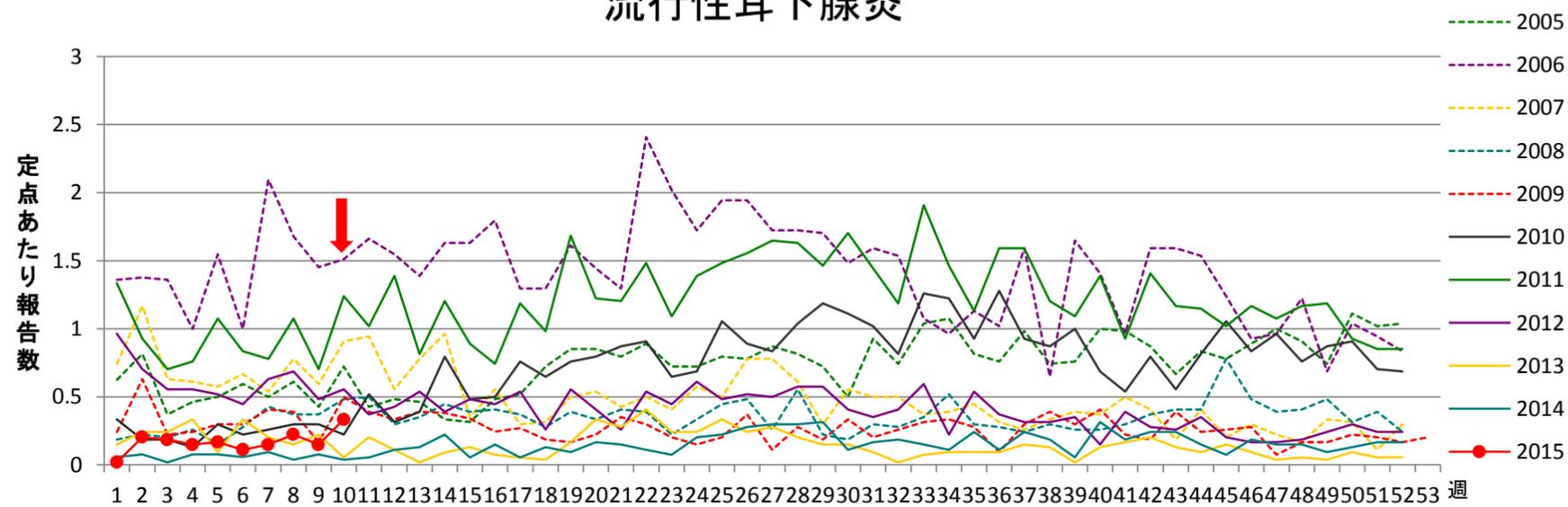
### 百日咳



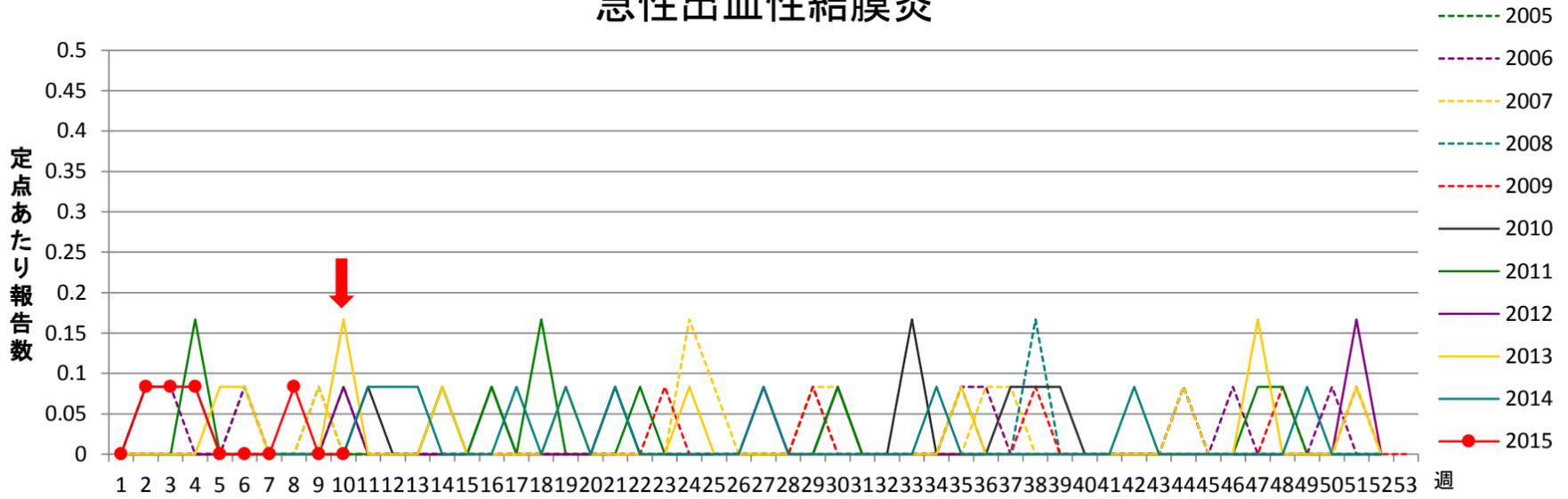
### ヘルパンギーナ



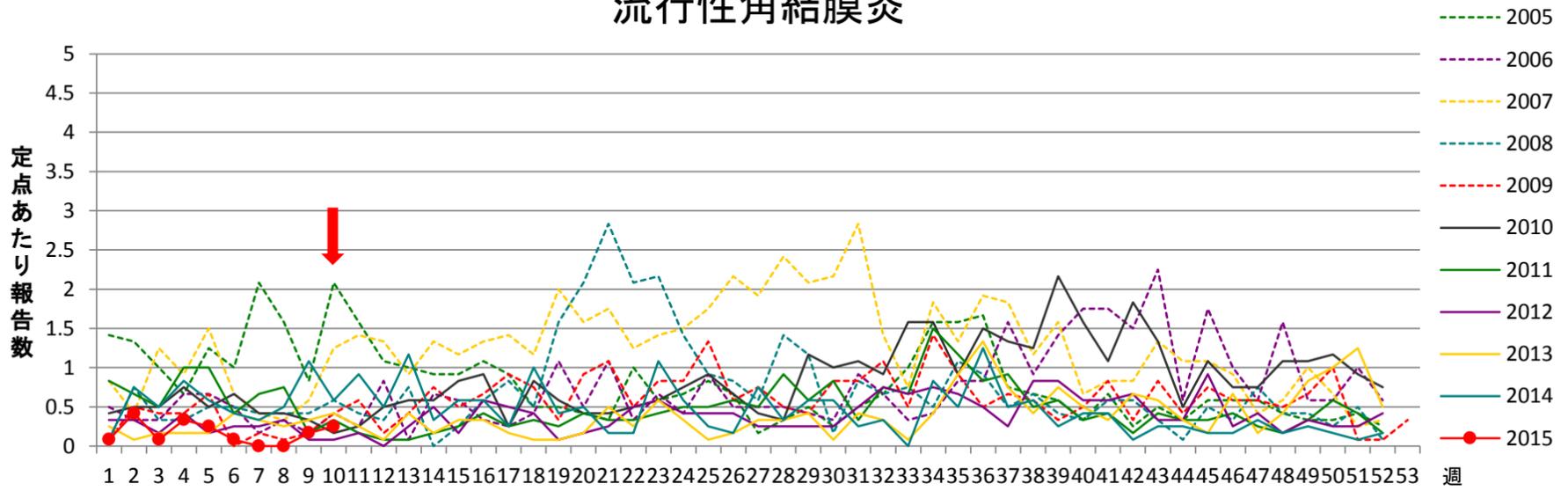
### 流行性耳下腺炎



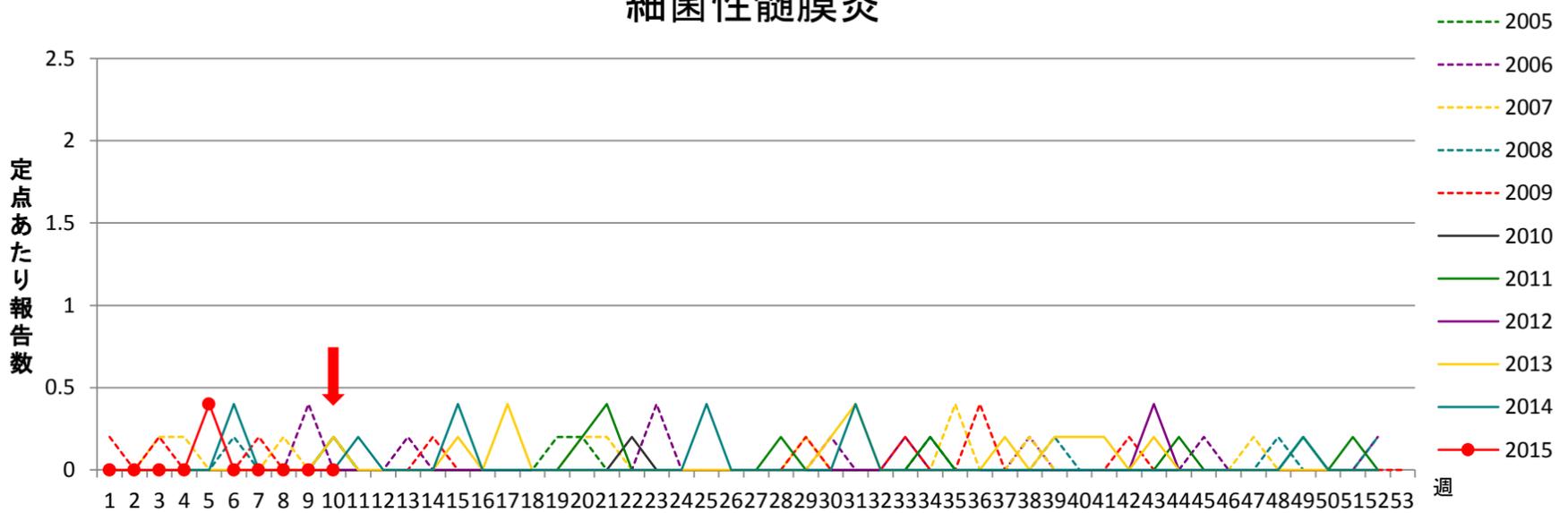
### 急性出血性結膜炎



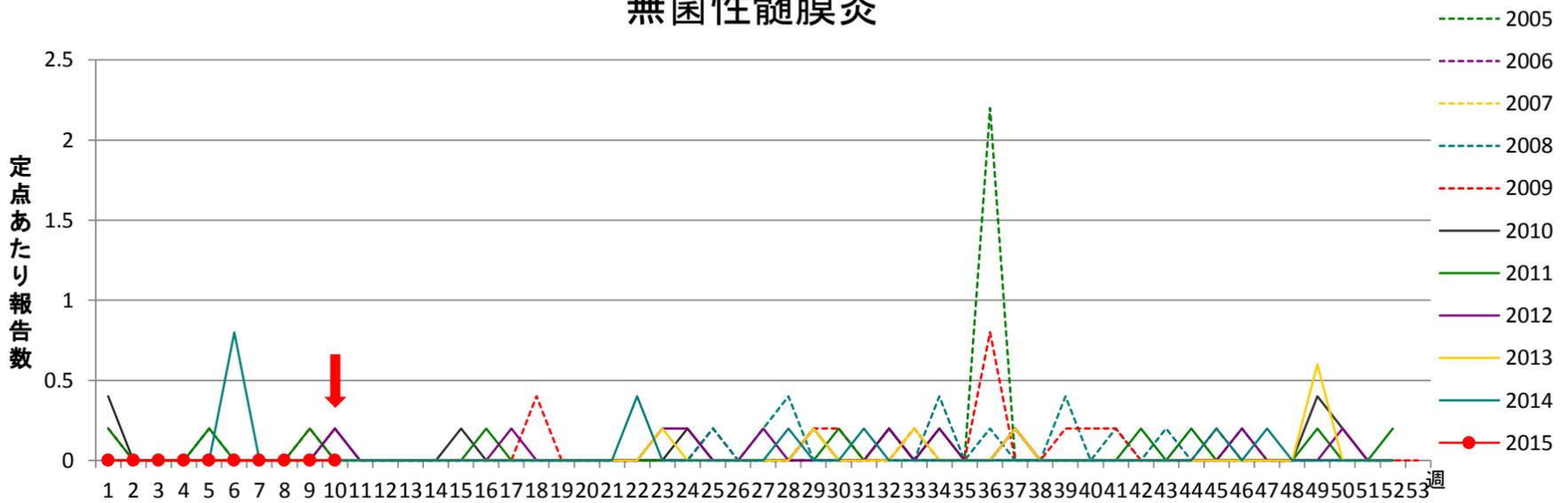
### 流行性角結膜炎



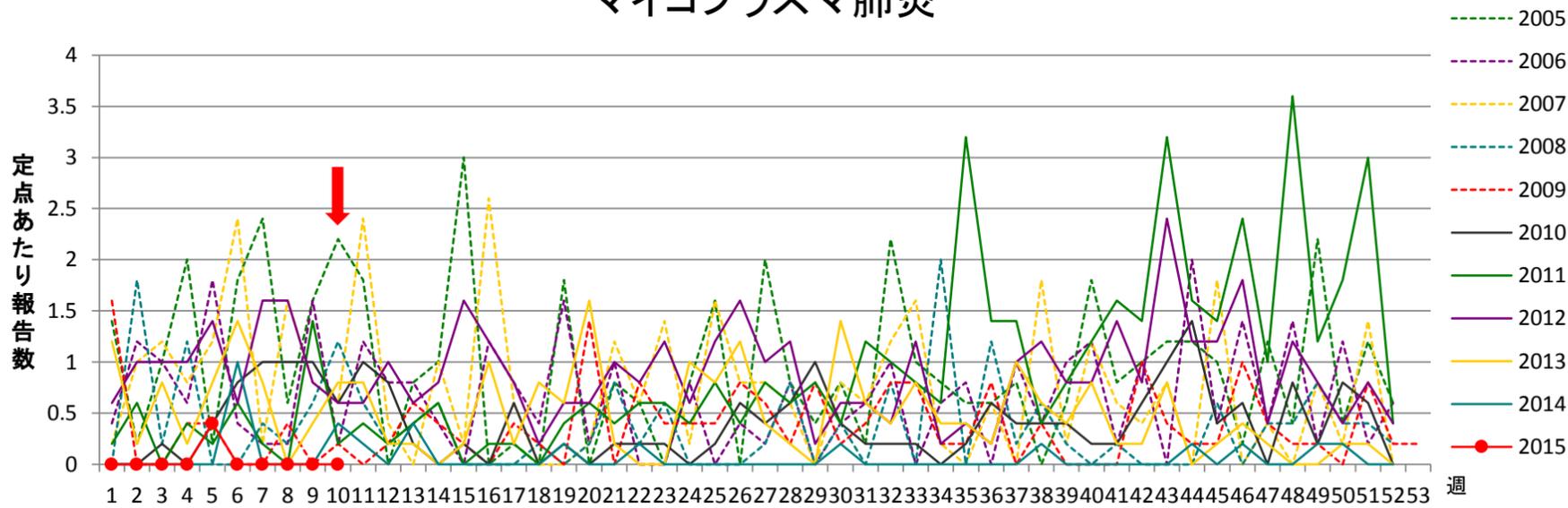
### 細菌性髄膜炎



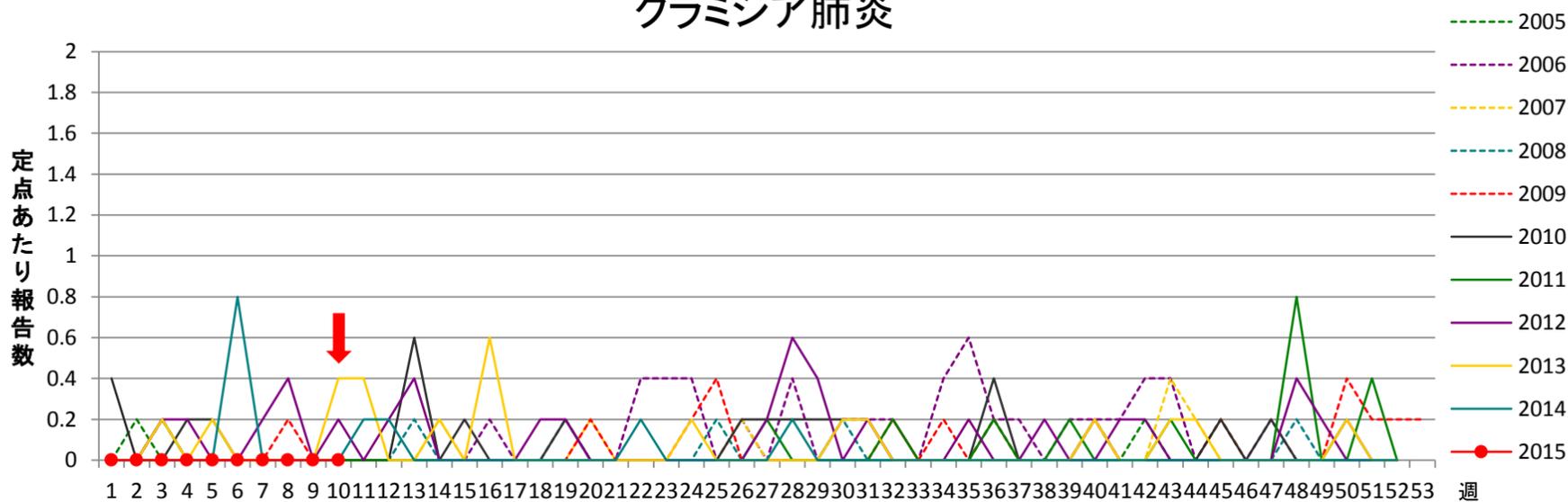
### 無菌性髄膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎



### 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

